

釧路市は、ひがし北海道の中核都市として圏域人口30万人を支える行政、教育、文化、情報、交通などの高次都市機能が集積しています。特に都心部は、高度経済成長期にかけて、釧路駅を核に人口増加や自動車社会の到来に対応した社会基盤整備が進み、多くの人が往来するひがし北海道の拠点として栄えてきました。しかしながら、人口減少・超高齢社会の到来、都市の郊外化など様々な要因により、都心部にかつての人の往来がなくなっています。

市では、このような状況に対応するため、鉄道高架を基本に、都心部を自動車優先から人と公共交通中心の空間に再生することを目指しています。駅前広場やバスターミナルの再整備、北大通の歩道を広げることで、人々が居心地よく歩き、留まることができる「ウォーカブル」な空間を生み出し、賑わいを創出することを計画しています。

現在、多くの自治体では、ウォーカブルなまちづくりが実践されており、本フォーラムでは、講師、並びに、パネリスト、市民の皆様とともに、なぜウォーカブルが注目されているのか、ウォーカブルな空間を活用した官民連携による賑わいの創出などについて、考えることを目的に開催いたします。

2023年 2月22日 水

13時 ▶ 16時 (開場12時30分)

釧路市観光国際交流センター

1階 大ホール 釧路市幸町3番3号

入場無料



リンク RINK 釧路

Re:Innovation to Next generation, central Kushiro
~次世代に向けた釧路都心部のRe・Innovation~

第2回

釧路都心部まちづくりフォーラム

人と公共交通を中心としたウォーカブルな空間を目指して

01

報告 (13時10分~)

釧路都心部まちづくり計画が目指す
ウォーカブルな空間形成



高野 伸栄 氏

- 北海道大学大学院
工学研究院土木工学部門 教授
- 釧路都心部まちづくり推進協議会(準備会) 座長

基調講演 (13時25分~)

公共事業が地域の価値を高める



高尾 忠志 氏

- 九州大学 持続可能な社会のための決断科学センター
特任准教授
- 長崎市景観専門監
- 一般社団法人 地域力創造デザインセンター 代表理事

02

パネルディスカッション (14時5分~)



山下 裕子 氏



原田 香苗 氏



相原 真樹 氏

テーマ

人々が、居心地よく歩き、留まることができる
ウォーカブルなまちづくり

コーディネーター

Coordinator

高野 伸栄 氏

北海道大学大学院教授

パネリスト

Panelist

高尾 忠志 氏

九州大学特任准教授

山下 裕子 氏

広場ニスト、ひと・ネットワーククリエイター

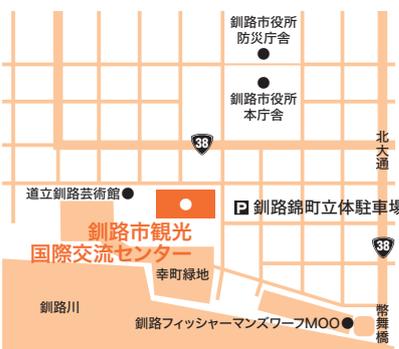
原田 香苗 氏

観光クリエイター、ボールペン画家

相原 真樹 氏

RINK釧路まちづくりラボ

Access



当日の同時刻に、
フォーラムの様子を
YouTubeでライブ配信
します(無料)

((LIVE))



<https://www.youtube.com/channel/UCqux4cizQT592MiWqp1m3kQ>

お問い合わせ |

釧路市都市整備部
都心部まちづくり推進室 0154-65-7612
釧路商工会議所 0154-41-4141
(主催) 釧路市 (共催) 釧路商工会議所
(後援) 北海道新聞釧路支社
釧路新聞社

ご参加方法 (事前の申し込みが必要です)

2023年 2月15日 水 までに、メールにて、お名前(ふりがな)、
ご住所、お電話番号を記入の上、申し込みください。
(新型コロナ対策のため) | あて先 ekiforum@city.kushiro.lg.jp



12:30 開場

13:00 開会・主催者挨拶 | 釧路市長 蝦名 大也

13:10 報告 | 釧路都心部まちづくり計画が目指すウォーカブルな空間形成

北海道大学大学院 工学研究院土木工学部門 教授 高野 伸栄 氏

13:25 基調講演 | 公共事業が地域の価値を高める

九州大学 持続可能な社会のための決断科学センター 特任准教授 高尾 忠志 氏

14:05 パネルディスカッション

テーマ 人々が、居心地よく歩き、^{とど}留まることができるウォーカブルなまちづくり

16:00 閉会

Profile



Coordinator 高野 伸栄 氏

- ・北海道大学大学院
工学研究院土木工学部門 教授
- ・釧路都心部まちづくり推進協議会(準備会)座長

1960年小樽市生まれ。1983年北大工学部卒業後、建設省入省、東北地方建設局勤務。1989年北大工学部土木工学科助手、1999年同助教授、同大学院公共政策学連携研究部教授を経て、2017年から北大公共政策大学院長。2021年4月から現職。北海道総合都市交通体系調査協議会座長や北海道地方交通審議会会長などを歴任。釧路市のまちづくりにも深く関わり、現在は、釧路都心部まちづくり推進協議会(準備会)の座長やRINK釧路まちづくり交通戦略会議の進行役を務める。



Panelist 高尾 忠志 氏

- ・九州大学 持続可能な社会のための
決断科学センター 特任准教授
- ・長崎市景観専門監
- ・一般社団法人 地域力創造デザインセンター
代表理事

1977年生まれ。東京大学景観研究室修了後、(株)アトリエ74 建築都市計画研究所、九州大学景観研究室、九州大学持続可能な社会のための決断科学センター准教授を経て、2020年度より同センター特任准教授。2013年度より長崎市の公共事業全体のデザイン監修と職員育成を行うインハウス・スーパーバイザー(ISV:庁内監修者)「長崎市景観専門監」に就任。2020年4月に「一般社団法人地域力創造デザインセンター」を設立して代表理事に就任。学、官、民のそれぞれの立場から各地のまちづくりに関わる。



Panelist 山下 裕子 氏

- ・広場ニスト
- ・ひと・ネットワーククリエイター

2007年よりグランドプラザ運営事務所勤務。2009年(財)地域活性化センター第21期全国地域リーダー養成塾修了。2011年よりNPO法人GPネットワーク理事。2013年より全国まちなか広場研究会理事。2014年より、まちなか広場研究所の屋号で個人活動開始。様々な地域のまちなか広場づくりに地元の伴走者的立ち位置で活動を続ける。著書に『にぎわいの場 富山グランドプラザ稼働率100%の公共空間のつくり方』(学芸出版社)、『生きた景観マネジメント』(共著・鹿島出版会)、『コンパクトシティのアーバニズム』(共著・東京大学出版会)



Panelist 原田 香苗 氏

- ・観光クリエイター
- ・ボールペン画家

釧路市生まれ、在住。バスガイド、釧路駅観光案内所、JR観光列車ガイドなどを経て2019年起業。観光クリエイターを名乗り、観光現場からツアー企画造成、異業種・広域連携、コンテンツ開発アドバイスを仕事に。「旅先から伝えたいもの」をテーマに、地域名物を描き広げる“バスガイドもできるボールペン画家”原田カーナとしても活動中。



Panelist 相原 真樹 氏

- ・RINK釧路まちづくりラボ

1977年神奈川県逗子市生まれ。2002年大学卒業後、大手化粧品メーカーに就職。赴任した北海道釧路市が気に入り、2006年にそのまま移住を決意し転職。現在は生活困窮者支援団体の事務局長を務める傍ら、町内会長、異世代・異業種交流会の代表、くしろ元町青年団の事務局長を務めるなど、自他認めるまちづくりおじさん。